

- 売上高は、グループ顧客件数の増加や法人向け情報通信事業の拡大に加え、建築設備不動産の受注が順調に推移したこと等により、4期連続の増収、過去最高を更新
- 営業利益は、昨年に引き続き賃上げを実施したことによる人件費の増加等があった一方で、顧客件数増加に伴う月次課金件数の増加や建築設備不動産の増益等により、前年同期比4億円の増益

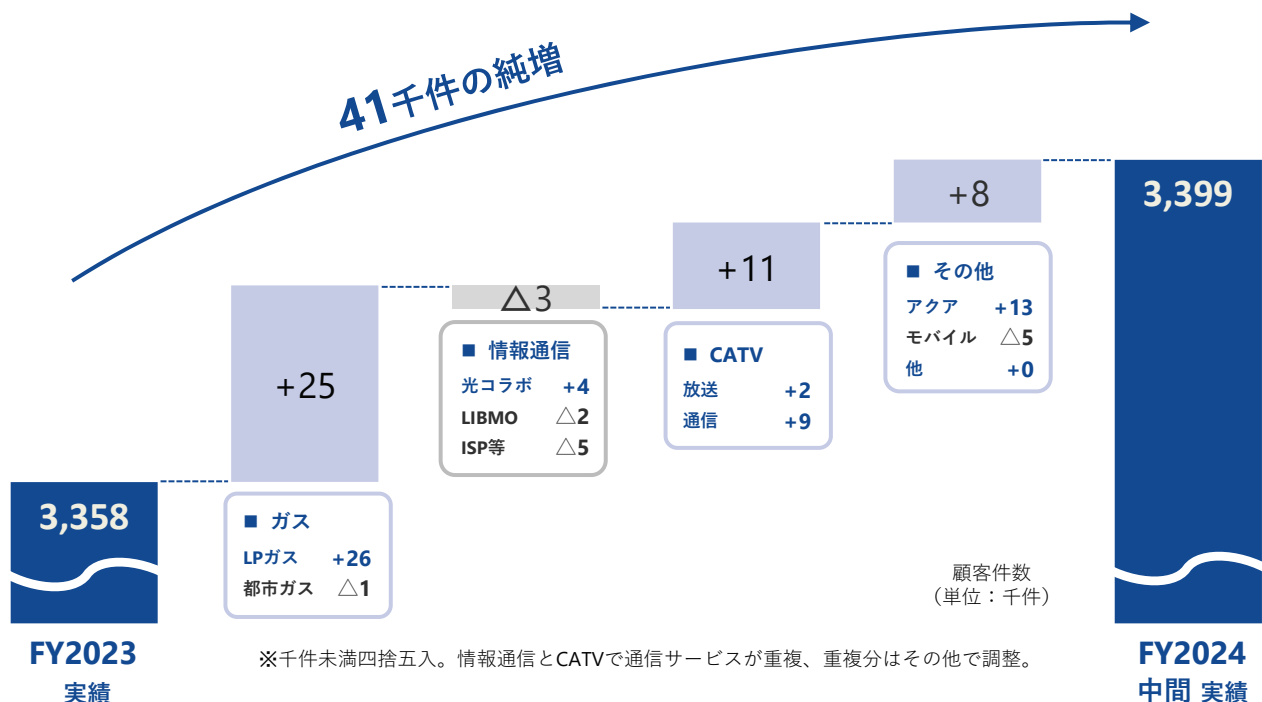
	当期実績 (2024.4.1~2024.9.30)	前期 (2023.4.1~2023.9.30)	前期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	111,088	105,226	+5,862	+5.6
営業利益	4,660	4,254	+405	+9.5
経常利益	4,882	4,355	+526	+12.1
中間純利益	2,390	2,219	+170	+7.7
1株当たり中間純利益	18.30	17.00	+1.30	+7.7

(売上高・利益：百万円、1株当たり純利益：円)

©2024 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

主力事業が堅調に顧客基盤を拡大

- 当中間期末の継続取引顧客件数は3,399千件と、期首の3,358千件から41千件増加
- ガス事業、CATV事業、アクア事業、光コラボが収益基盤のさらなる拡充を進捗



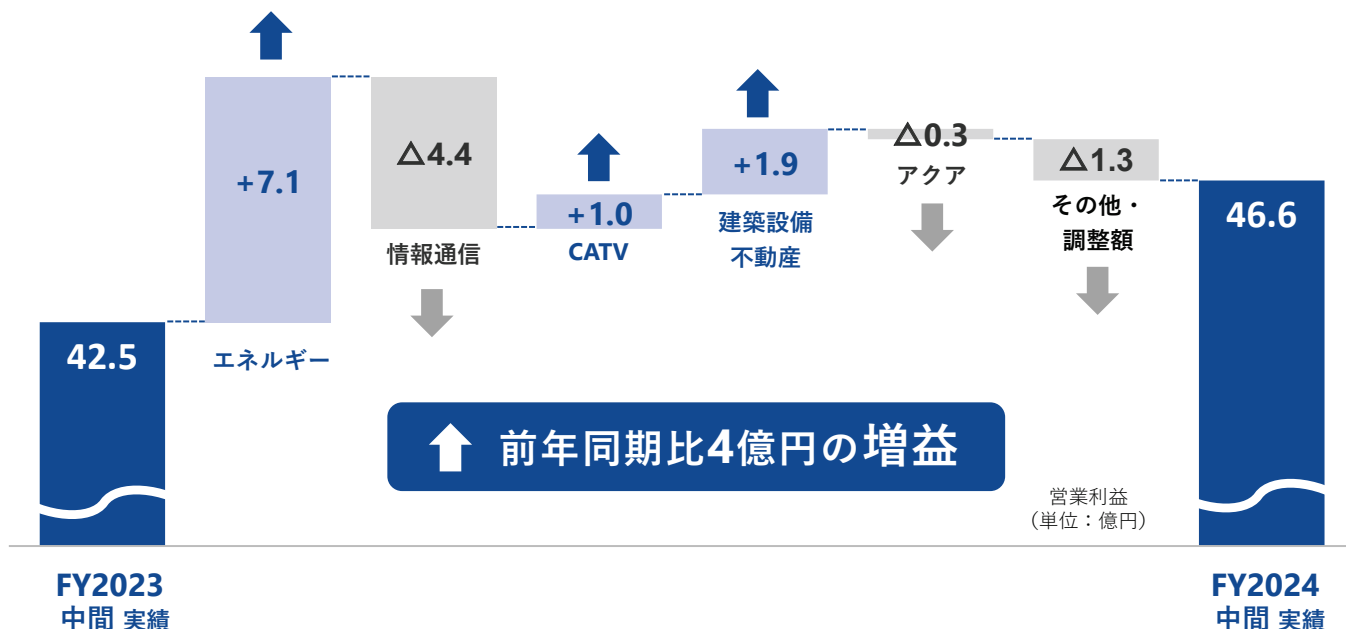
©2024 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

		当期実績	前年実績	前年比	増減率
売上高	エネルギー	45,406	42,952	+2,454	+5.7%
	情報通信	28,361	27,457	+904	+3.3%
	CATV	18,058	17,732	+326	+1.8%
	建築設備不動産	11,944	10,943	+1,000	+9.1%
	アクア	4,784	3,883	+900	+23.2%
	その他	2,532	2,257	+275	+12.2%
	計	111,088	105,226	+5,862	+5.6%
営業利益	エネルギー	1,579	869	+709	+81.6%
	情報通信	2,391	2,828	△436	△15.4%
	CATV	3,233	3,135	+98	+3.1%
	建築設備不動産	771	578	+192	+33.4%
	アクア	332	364	△31	△8.8%
	その他・調整額	△3,647	△3,520	△126	-
	計	4,660	4,254	+405	+9.5%

※営業利益は間接費用等配賦前ベース

セグメント別営業利益の増減

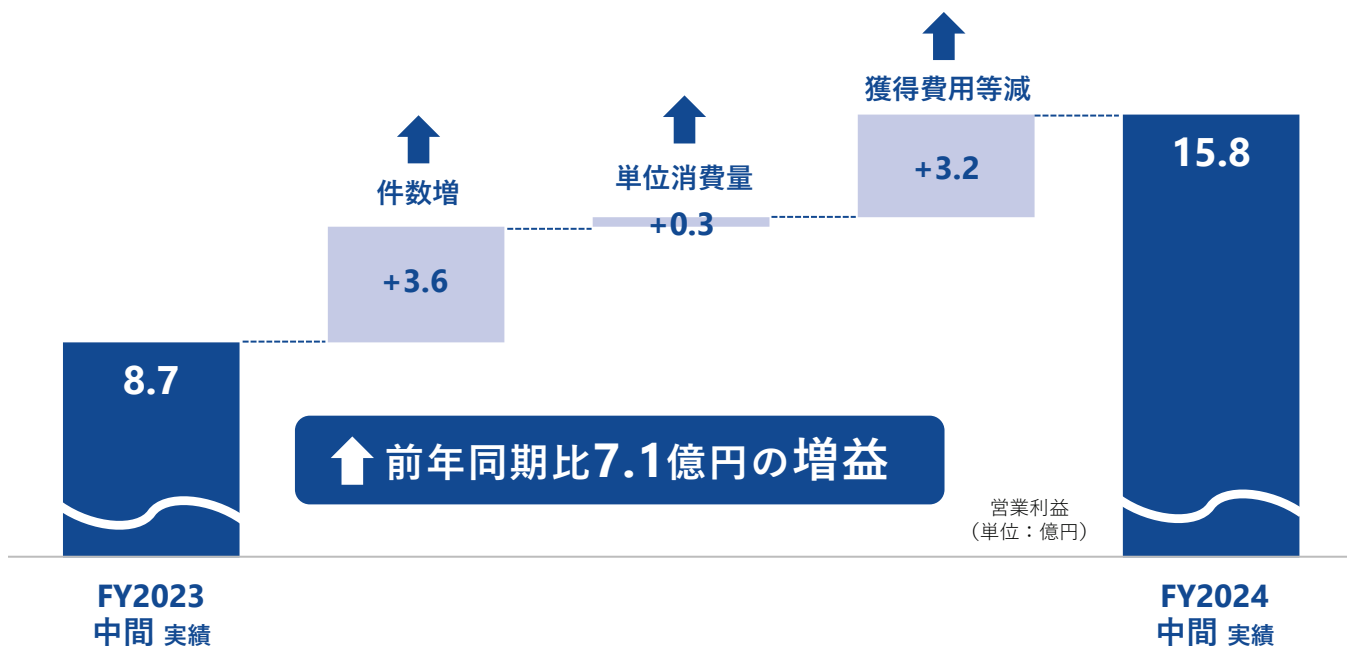
- エネルギーは顧客件数増加に加えて、戦略的に経費の見直しと削減を図ったこと等により増益
- 情報通信は、クラウドサービスが順調に進捗した一方で、組織体制強化等の先行投資により減益
- CATVは顧客件数の増加、建築設備不動産は建築工事の受注が順調に推移したこと等により増益
- アクアは顧客獲得にかかる先行費用の増加等により減益



※営業利益の増減数値は間接費用配賦前ベース

セグメント別営業利益（エネルギー）

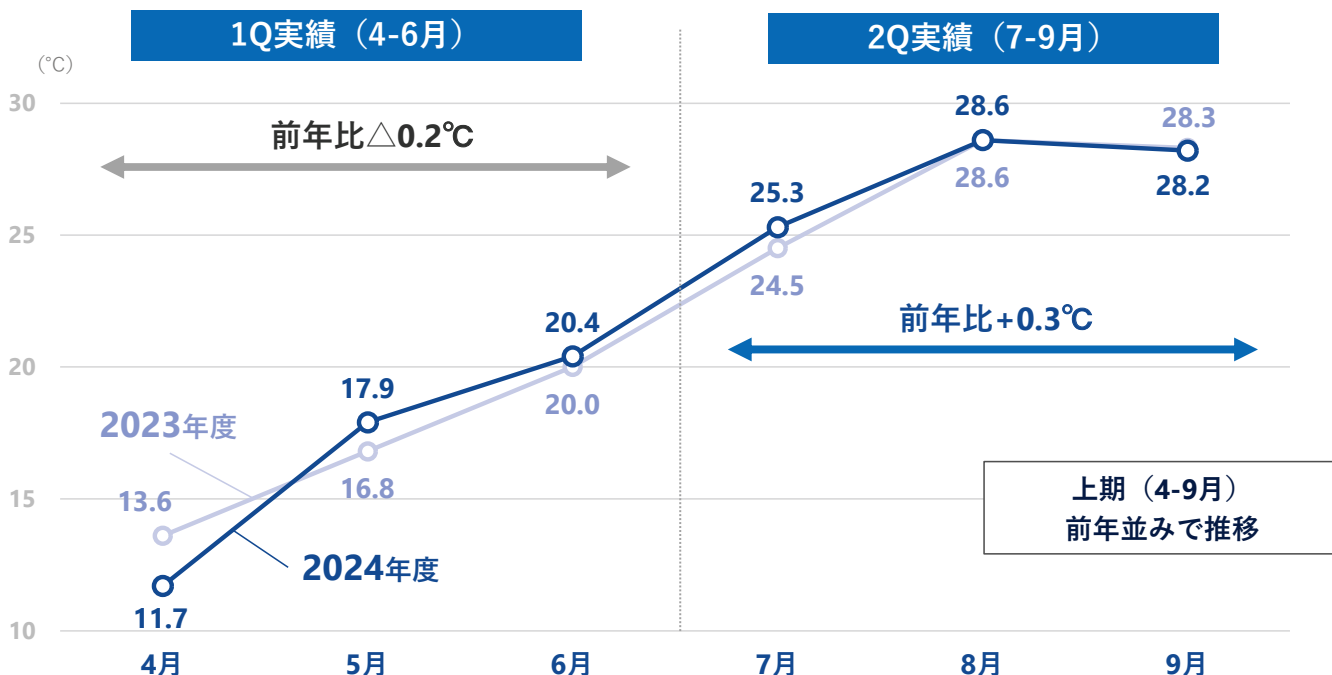
- 4月にLPガス事業を営む(株)フジプロを連結子会社化、8月には鹿児島県へエリアを拡大
- 顧客件数増加に加えて、獲得費用等の削減を図ったことにより増益



平均気温の推移

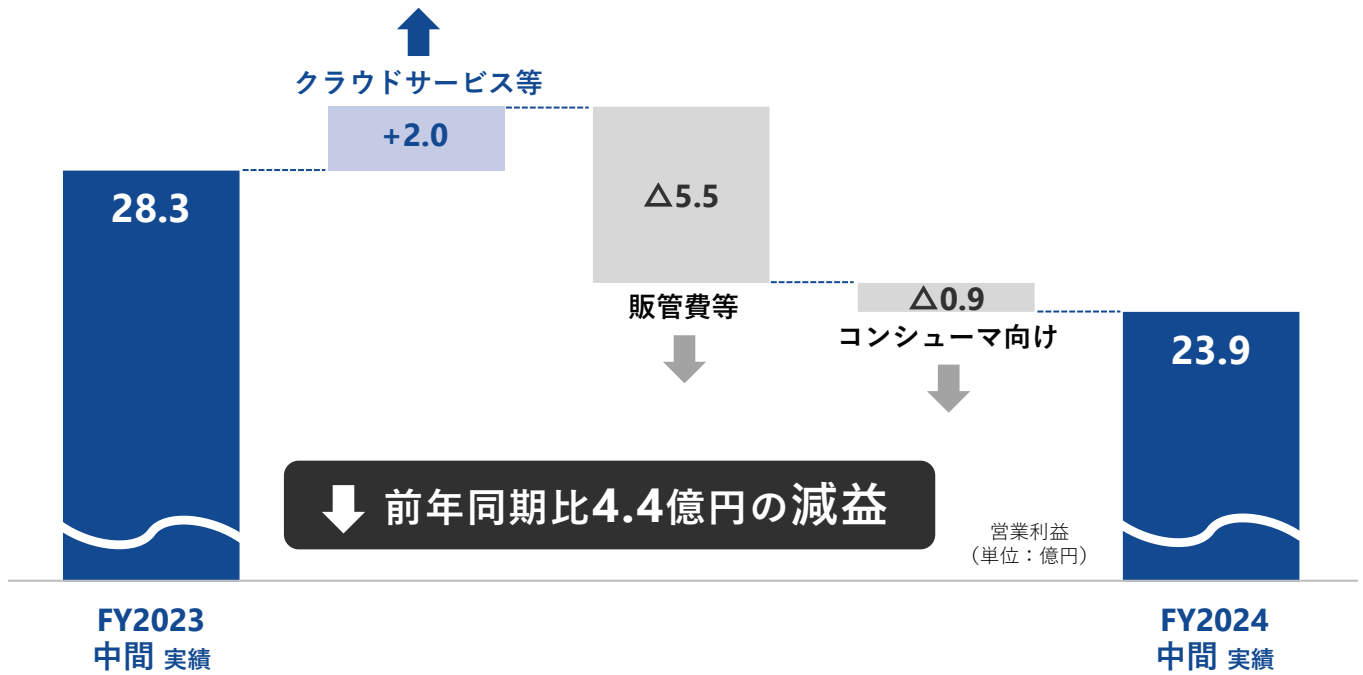
- 1Q（4-6月）は前年よりも0.2℃低く、2Q（7-9月）は0.3℃高い。上期では前年並み
- 下期（10月～3月）以降はほぼ前年並みの計画

月次平均気温の推移



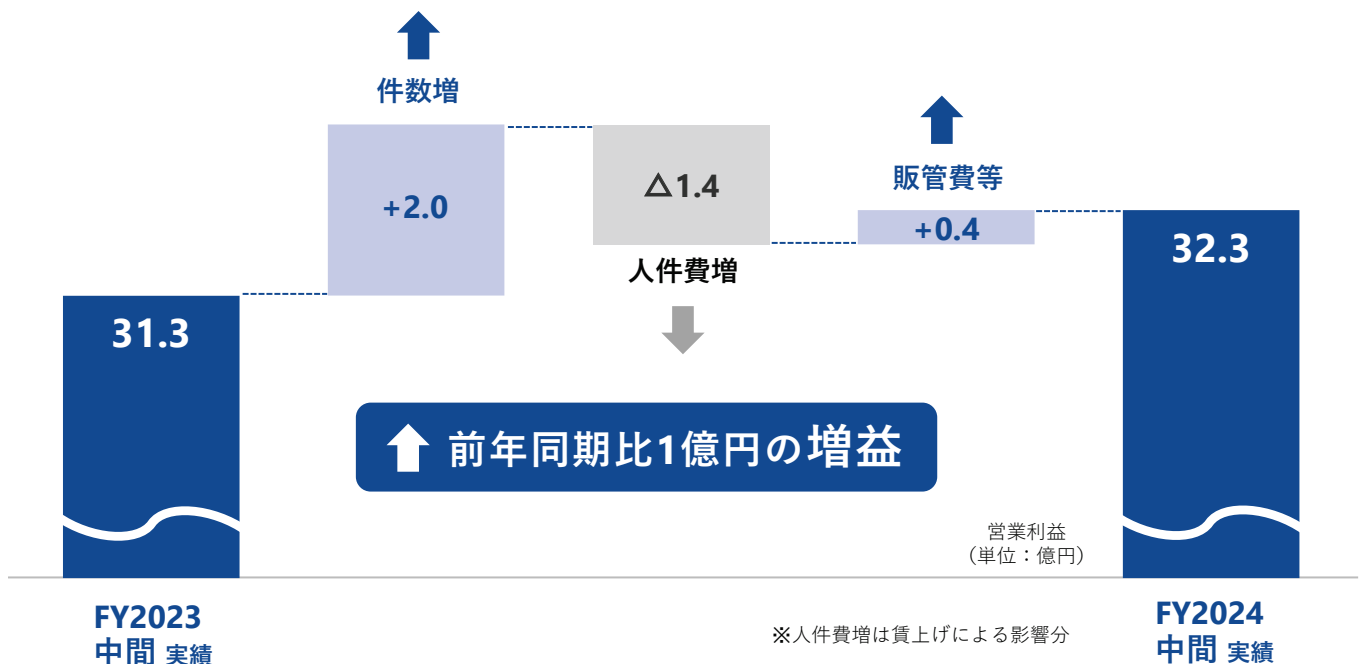
セグメント別営業利益（情報通信）

- 法人向け事業は、クラウドサービスが好調に進捗した一方で、組織体制強化等の先行投資により減益
- コンシューマ向け事業は、ARPUの減少等により減益



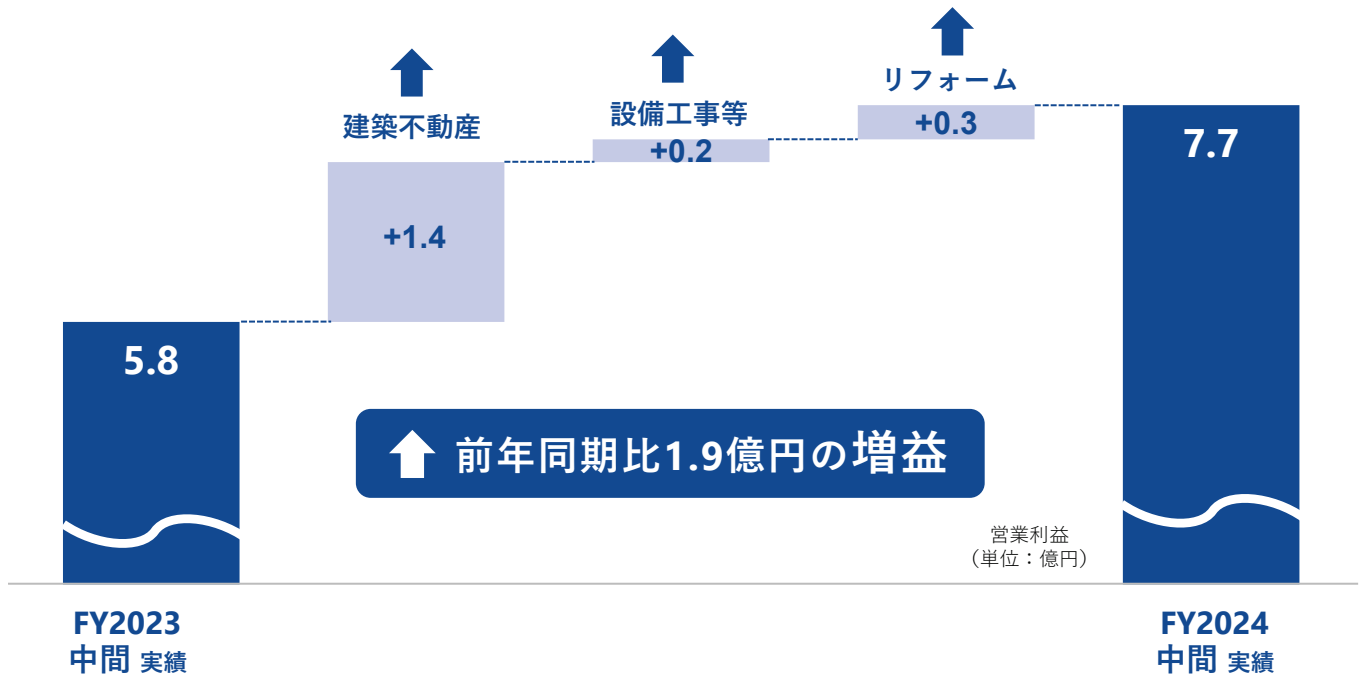
セグメント別営業利益（CATV）

- 積極的な営業活動を推進し顧客基盤を拡大したことで、顧客件数増加による増益を計上
- 賃上げによる人件費増によるマイナス影響あるが、販管費等を抑制したことで前年同期比1億円の増益



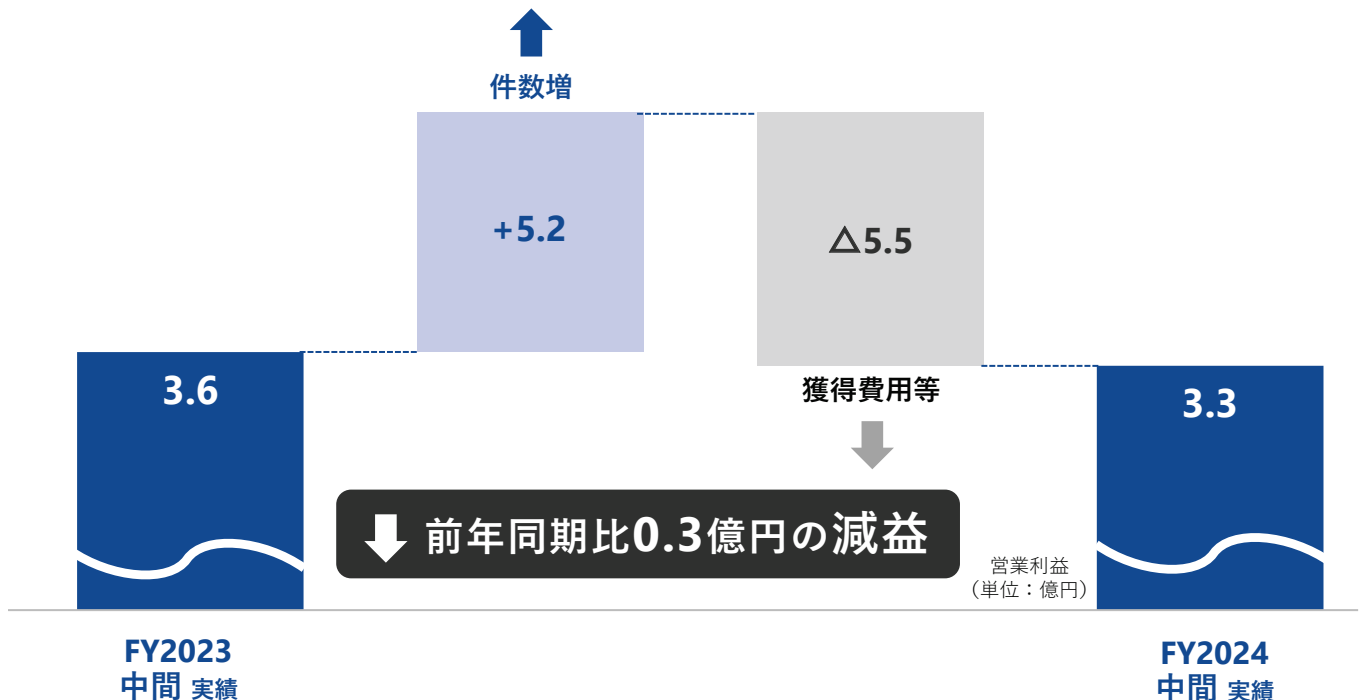
セグメント別営業利益（建築設備不動産）

- 建築不動産、設備工事等、リフォームが好調に推移したことで、前年同期比1.9億円の増益
- 建築不動産は、建築工事の受注が増加したことに加え、大型の事業用地や分譲地の販売が好調で増益



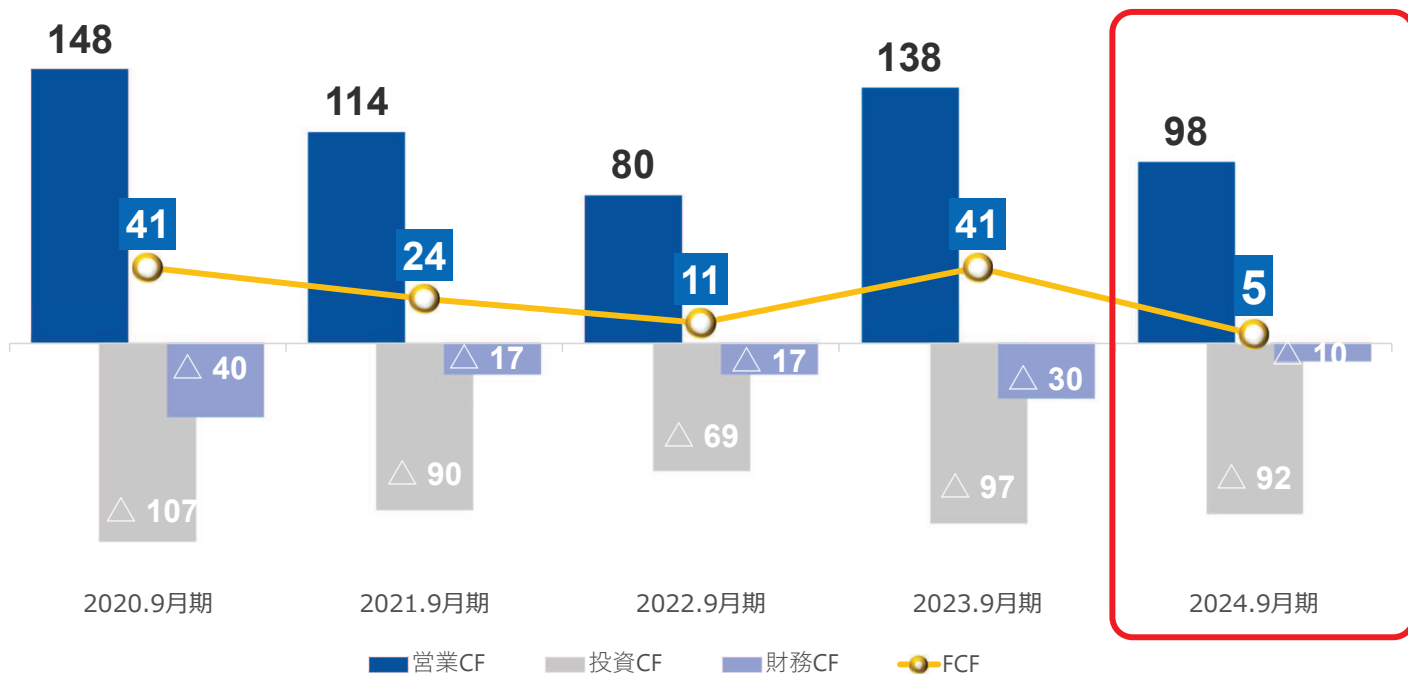
セグメント別営業利益（アクア）

- 昨年4月に開始した給水型浄水サーバーの販売が好調に推移し、顧客基盤が更に拡充
- 顧客件数は着実に増加するも、顧客獲得にかかる先行費用の増加等によりで前年同期比0.3億円の減益



- 当中間期は98億円の営業CFを創出。LPガス事業を営む(株)フジプロの株式を取得したことや情報通信のネットワーク増強等により投資キャッシュフローは92億円。その結果、フリーキャッシュフローは5億円
- 財務CFは配当金の支払等により10億円

(単位：億円)



貸借対照表

- 総資産は、季節的要因等により受取手形・売掛金が59億円減少したこと等により2,000億円（前期末比△53億円）
- 自己資本比率は前期末から1.1ポイント向上し44.5%、健全な水準を維持

2024年3月期

総資産 2,053億円

(単位：億円)

流動資産 547	流動負債 618
固定資産 1,506	固定負債 522
	純資産 913
	自己資本比率 43.4%

2024年9月期

総資産 2,000億円

(単位：億円)

流動資産 467	流動負債 534
固定資産 1,533	固定負債 553
	純資産 914
	自己資本比率 44.5%



2025年3月期 通期業績予想

2025年3月期 連結業績予想

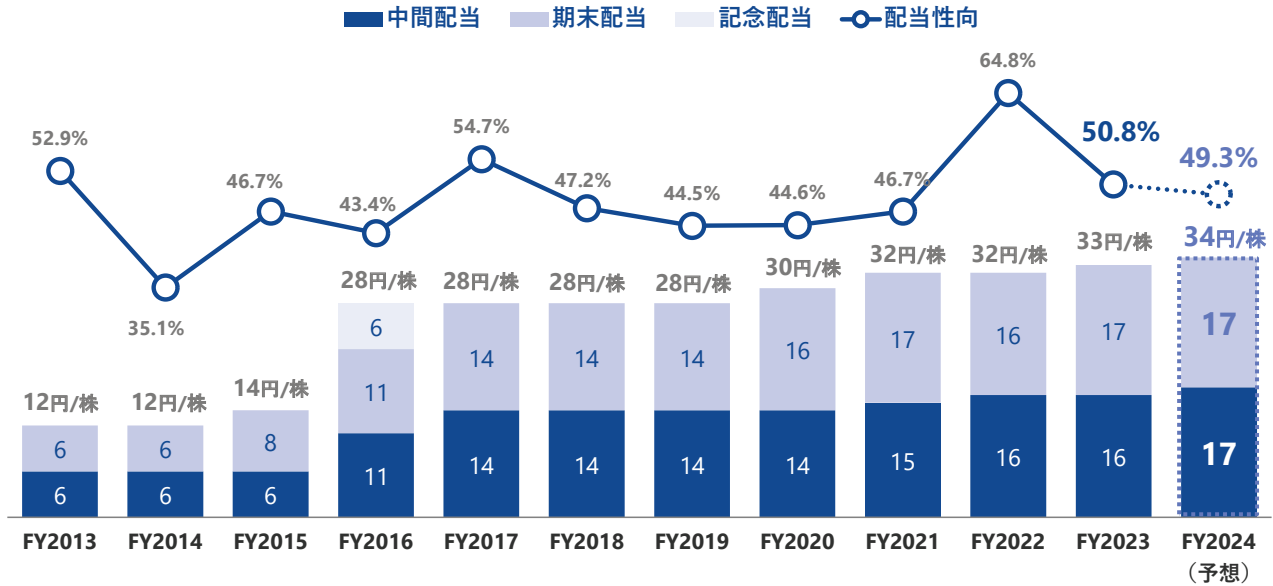
- 2025年3月期は「中期経営計画2025」の2年目。中期経営計画で掲げた「成長の根源、基幹、果実」の3つの要素からなる成長ツリーに沿って各取り組みを確実に実行し、更なる飛躍を遂げていく。
- エリア拡大やM&A、新規事業の創出等を引き続き推進し、2024年度も増収増益を継続、売上高、全ての利益項目で過去最高を更新

(単位：百万円)

	当期予想 (2024.4.1～2025.3.31)	前期実績 (2023.4.1～2024.3.31)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	244,000	231,513	+12,487	+5.4%
営業利益	16,000	15,511	+489	+3.2%
経常利益	16,000	15,531	+469	+3.0%
当期純利益	9,000	8,481	+519	+6.1%
1株当たり純利益	68.90円	64.94円	+3.96円	+6.1%
期末顧客件数	3,452千件	3,358千件	+94千件	+2.8%

配当予想

- 1株当たり年間配当金は、前期から1円増配し34円/株を予定
- 配当性向は引き続き高い水準を維持



中期経営計画2025の進捗状況

①事業収益力の成長

- 鹿児島に新規事業所を開設、フジプロの株式を取得するなど、顧客基盤を拡大
- インドネシアに新会社を設立するなど国内外のビジネスエリアを拡大
- インターネットのクロスセル営業により顧客基盤を拡大

②持続的成長基盤の強化

- 脱炭素社会の貢献を目指し、自社施設の省エネ化・脱炭素化を推進
- カーボンオフセットした都市ガスを一般家庭向けに提供

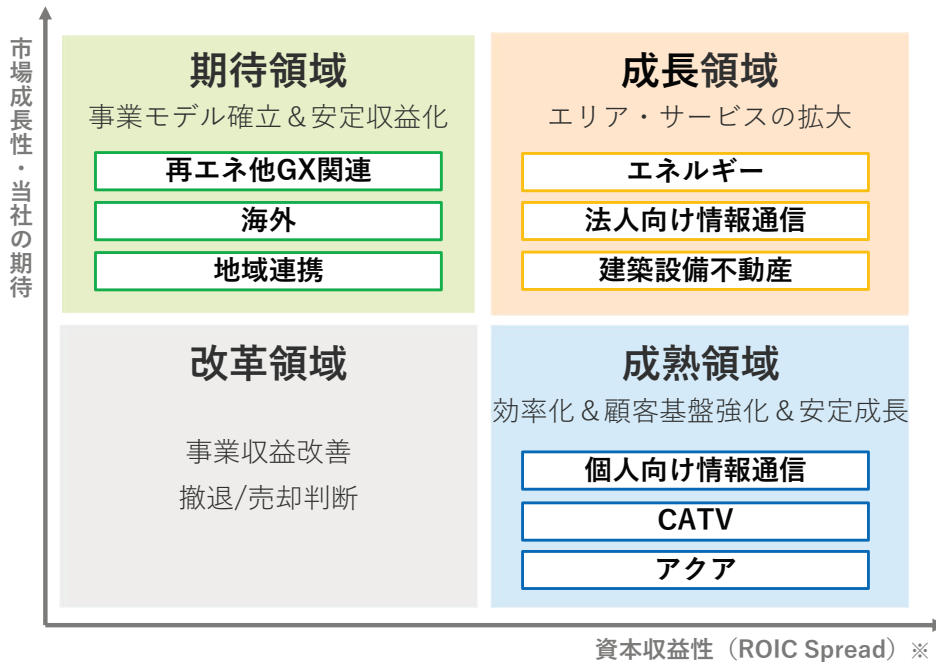
③人財・組織の活力最大化

- 給与水準の引き上げ、子育て支援・介護支援に関する制度の拡充
- キャリア支援制度の導入やeラーニング等のリスキング環境を充実

- 資本収益性と成長性の2軸で事業ポートフォリオを把握し、グループ全体最適を実現するポートフォリオ構築に向けたマネジメントを強化していきます。

当社の事業ポートフォリオ

事業ポートフォリオのマネジメント方針



- 1 ポートフォリオ上の位置づけに応じて、**各事業の拡大・効率化を後押し**するマネジメントを実施。
- 2 グループの持続的成長に向け、期待領域に**新規事業を創出する取組み**を継続。
- 3 事業間連携を強化し、更なる**グループシナジーの創出**につなげる。

※事業ごとの資本収益性は、事業別ROIC Spread (事業別ROIC - 事業別WACC) で算定。

事業別ROICは“NOPAT ÷ (運転資本 + 固定資産)”で算定。 事業別WACCは事業ごとのリスクを織り込み、自社基準で算定。

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

金額は百万円未満切り捨て、それ以外を四捨五入で表示しております。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社TOKAIホールディングス 広報・IR室
〒420-0034 静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8
TEL: (054) 273-4878
FAX: (054) 275-1110
<https://www.tokaiholdings.co.jp>
e-mail: hd-info@tokaigroup.co.jp

暮らしに社会にもっと笑顔を。
More smiles for a better life

